

技術支援事例 No.78 / 精密測定技術

車いす乗降用後付けスローパーの開発

支援の背景



沖縄県内で福祉車両の販売・改造を手がけているタイヤランド沖縄には、「車いすを載せることができる車を買う経済的な余裕がないので現在使っている車を改造できないか？」という相談が寄せられていますが、高度な改造技術が要求されることや改造後の車体強度を測定する技術が県内に構築されていないなどの理由から顧客の要望に応えられていないとのことです。

支援の内容

上記の課題を解決するため**タイヤランド沖縄**と**新垣鋳金**および**沖縄県工業技術センター**が研究チームを作り、**使用中の車を改造して車いすを載せることができる車両**の開発に取り組みました。改造後の車両が一般道を走るためには車両に十分な強さがあることを証明することが必要不可欠なことから、工業技術センターではスローパーの加工および**走行時の車体に発生するひずみを測定**して強度の推定を実施しました。



支援の成果

使用中の車を福祉車両に変更する改造技術や、走行中の車体に発生するひずみから強度を推定する技術を構築しました。

タイヤランド沖縄では今後、完成した車両を関係福祉団体等の方々に使っていただき、ご意見やニーズを多く集めて改良を重ね、早期の事業化を目指す予定です。